

ASAHI GAWASO DAYORI

旭川莊だより

100号記念

発行
社会福祉法人 旭川莊
〒703-8555
岡山市祇園地先
TEL 086-275-0131
FAX 086-275-5640
<http://www.asahigawasou.or.jp>



旭川学園 絵画教室

新年おめでとうございます。
いよいよ「二十一世紀を迎える年です。みなさんと
ご家族のご多幸を心からお祈りします。



二十世紀末のわが国の十年は「失われた十年」と言われ、経済の低迷・混乱か
ら今なお、脱出することができません。

ところで、国民生活とともに密接な社会保障、ことに
福祉の面ではこの十年はどのような年であったのか。検証
してみることにしましょう。

社会福祉基礎構造改革をめざして三年余の検討の結果、
社会福祉法が成立。さらに公的介護保険の発足など二十一
世紀の安心社会をめざした「助走の十年」であったと言え
るのではないでしょうか。

二十世紀は技術革新・産業の繁栄という光の部分が目立
ちますが、一面、戦争・饑餓・差別・環境汚染・精神の退
廃という影の部分のあつたことを忘れることができません。
まさに文明の危機であり、文化の薄れた時代でありました。
二十一世紀は万人が安心して暮らせる「生命輝く世紀」に
しなければなりません。

二十一世紀は「生命とくらし」、即ち平和・環境・文化に
深く関与する医療福祉サービスに従事する私たちの出番だ
と言えましょう。

旭川莊は「敬天愛人」の理念の下に創立され、高い人間
尊重の精神性を掲げ、活動を続けてきました。二十一世紀
のスタートラインに立ち、私たちは創立時の理念をあらためて想起し、時代の変化を注視し、自己革新を強力に押し
すすめ、二十一世紀型医療福祉サービスを提示し続けなければなりません。批評はするが行動はしないという集団的
無責任体質に陥らないように自戒したいものです。

新年のごあいさつ

旭川莊理事長 江草安彦

21世紀 —ひと・ふれあい・ゆめ—

二十一世紀の新春を迎えたて、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。昨年は介護保険制度がスタートしましたが、旭川荘では痴呆症状のあるお年寄のためのグループホーム「はなみずき」や、児童に健全な遊びの場を提供する「さくら児童館」が開設され、福祉施設の充実が図られまして、心から敬意を表する次第でございます。

旭川荘友の会といたしましては、本年も恒例の夏まつり旭川荘への協賛など、会員の皆様方とともに、幅広い活動を展開してまいる所存でございます。

どうか、会員の皆様方の一層のご理解と、ご協力を賜りますようお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。



旭川荘友の会
会長 梶谷忠二

二十一世紀の新春を迎えたて、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。昨年は介護保険制度がスタートしましたが、旭川荘では痴呆症状のあるお年寄のためのグループホーム「はなみずき」や、児童に健全な遊びの場を提供する「さくら児童館」が開設され、福祉施設の充実が図られまして、心から敬意を表する次第でございます。

旭川荘友の会といたしましては、本年も恒例の夏まつり旭川荘への協賛など、会員の皆様方とともに、幅広い活動を展開してまいる所存でございます。

どうか、会員の皆様方の一層のご理解と、ご協力を賜りますようお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



旭川荘友の会
会長 梶谷忠二

21世紀へのメッセージ

ナカシマプロペラ株式会社名誉会長
旭川荘理事 中島保

岡山南ロータリークラブは社会奉仕活動の一環として、一九九五年旭川荘の清掃奉仕を企画しました。企業にとってもボランティア活動に参加することは意義のことと考え社員の意見を求めたところ賛成を得ました。

そしてクラブの了解の上でナカシマプロペラの社員や家族にも呼びかけたところともに感激しております。

光栄にも江草理事長より感謝状を頂きました。人のために働く喜びをクラブ会員ともに分かち合い、良い経験をさせてもうたと思っています。本年度は二回は必要と思い、従来の年一回に加えて十一月にも社員ならびに家族で実行しました。その際、光栄にも江草理事長より感謝状を頂きました。人一同とともに感激しております。

二十一世紀を迎えたが、ボランティア活動は社会人の任務であると同時に、企業の発展にも繋がるものと考えています。



バリアフリーの社会を目指して

ノンステップバスを走らせる会代表
竜ノ口寮利用者 小山俊幸

身体障害者療護施設「竜ノ口寮」に入所して十五年になります。私がいつも感じていることは、重度の障害を持つ人が生活する施設が少ないことです。大規模な施設でなく十人ぐらいが生活できる個室の集合アパートのような施設が街の中に多くあつたらと思います。

それから、旭川荘には岡山駅からの路線バスがノンステップバスになりとても便利になりました。もっともとノンステップバス、福祉タクシー、介護タクシー、そして二〇〇

二年に導入される低床路面電車等が街の中を走って、車椅子の人や高齢者の人たちが一人でも利用でき、自由に移動できる社会が早く実現できるよう、二十一世紀が私たちの生活を変えてくれることを願っています。



看護に新たな一步を

旭川荘厚生専門学院

第一看護科 干場智子



勉学に励む干場さん

旭川荘厚生専門学院に入学して早くも三年がたとうとしています。この間を振り返ると、さまざまな出来事がありました。住み慣れた場所から岡山県へ来て寮生活から始まり、病院でのアルバイト、学業と初めてのことがばかりでした。慣れていない環境の中で時にはくじけそう多々あります。しかし、共に助け合い、看護を語り合う友達、看護を深めるためにお導きくださいました先生方、そして看護について考える機会を多々与えて頂きました患者さんとの出会いが私の支えとなりました。私はここで看護の成長をとげることができました。岡山に来なければ、旭川荘に入学しないければ、この出会いはなかつたと思うと感謝の念で一杯になります。三年生では臨地実習、就職活動、国家試験と看護婦になる最終段階に入りました。昨年はいそ ugl いそにもなりましたが、その中で自分の手でこれまでの道は切りひらかなければいけないということがありました。二十一世紀のスタートラインに立って、人として看護者としての新たな一步を踏み出したいと思っています。

二十一世紀、福祉の新時代に

在宅介護支援センター旭川荘

ホームヘルパー 片山恵理



ヘルパー活動に向う片山さん

二十一世紀がいよいよスタートしました。新しい時代を迎え、福祉は今新しく生まれ変わることではないでしょうか。

ヘルパー活動を通じて、「福祉」とは一体なにか、考えてみました。辞書には「さいわい・幸福」とかかれています。これでは曖昧すぎて明確な意味がとらえられません。人はそれぞれ価値観や考え方方が違いますから百人いれば百通りの「福祉」があると思います。つまり福祉サービスを必要としている人と提供する人においても同様で、それぞれ違った福祉觀を持っています。またそのニーズにおいてはことさら多種多様となるでしょう。「これが福祉ですよ!」と差し出すだけではなくそれません。型にはまつた特別なものでは「福祉」の魅力は半減してしまいます。

私たち、より多くの方々に地域での生活や就労の場を提供し、安心して暮らせる地域づくりをめざして、安らぎの場を提供する、安心して暮らせる地域づくりをめざす。

私たちは、人々に地域での生活や就労の場を提供し、安心して暮らせる地域づくりをめざす。

新時代二十一世紀は、ふれあいを重視した人的ネットワークの形成により一層の努力を重ね、施設の持つ機能を地域へ提供し、地域生活支援の輪を広げていきたいと心を新たにしています。

新時代の大切なもの

望の丘作業所

清水裕江



望の丘作業所の利用者と清水さん(前列右)

21,いきいき 楽しく



喜悦 今日も一日笑顔で元気に=旭川児童院
(写真・旭川荘厚生専門学院生 山本純子さん)



誓詞 信頼と責任感、優しく笑顔を絶やさない=旭川荘厚生専門学院



恵沢 自然環境に恵まれて、気分も豊か=吉備ワークホーム



壮健 絵本のお話しに熱中。楽しく元気な毎日=旭川乳児院



明快 運動会で紅白の玉入れを楽しむ
お年寄りたち=旭川敬老園



共生 ボランティア、地域の人々と共に日々を
楽しく=竜ノ口寮



就労 街の喫茶室で働く。「嬉しい、楽しい」と=岡山市表町

21世紀の幕開け ゆずり葉の森にカリヨンの軽やかな音が響きわたる
森のうちそとに希望に燃え 試練に立ち向かう顔 顔がある
さあ 友よ 共に歩こう 共に歌おう 共に生きよう



旭川荘への期待

～21世紀いかにあるべきか～

真に開かれた施設・旭川荘



皆様よ
くご存じ
のように、
旭川荘は、
川崎病院
をはじめ
川崎医療大学などを創立さ
れた故川崎祐宣先生が、昭和
三十二年に創設された当時
としては珍しい医療と福祉
が一体となつた総合社会福
祉法人です。先生は現役の外
科医の時代から、患者のた
めの医師・病院」をその行動
理念として、実際に「昼夜診
療、年中無休」を貫いた方で
した。この精神が生み出した
のが旭川荘でした。医療だけ
では手の施しようのない障
害を持つた方々に、医療とど
もに福祉、教育の必要を痛感
されたの決断でした。川崎病
院の職員方の深い理解と協
力を得、その上数多くの県民
の協力のもとに旭川荘は誕
生しました。

それは施設利用者はもと
より、県民市民への徹底した
奉仕精神を主軸にした施設
でした。それが決定的なもの
となつたのは、昭和四十年、
現理事長の江草安彦先生の
ご指導のもとに展開された
重障児運動、今日の旭川児童
院設立のための県民運動で
した。数限りない県民、国民
の参加を得て昭和四十二年
に開設された児童院は、旭川
荘の象徴的存在となりまし
た。その上、当時まだ外国
だつた沖縄からの福祉施設
職員を迎えたのを機に始
ました。この一連の動きは、まさに
旭川荘の神髄ともいえるも
ので、この姿勢をますます貫
く旭川荘であつていただき
たく願うものです。

しかし、それは順風満帆な旅
といえるだろうか。今、地球
そのものが苦しみ出し、そこ
に住む人々は、何か大切なも
のを失つてしまつたと感じ
始めているのではないか。
二十一世紀は、間違なく、
「人について、地球について」
と考えなければならぬ時
代だと思う。

太古の時代から、地球は激
しく変化してきたし、さまざま
な生物も、現れては滅びるこ
とという歴史を繰り返してき
た。ところが、今や、人がし
ばしば地球を変え生態系を
変える結果となつていて。二
十世紀は文明を高度に発達
させ、人に便利さ・快適さ・
豊かさをもたらしたが、それ

医療福祉学の本質を求めて



川崎医療福祉大学副学長 岡田喜篤

は同時に、本質的に大切なも
のを犠牲にする場合がある
ことを示している。
人は生きている限り、いつ
か必ず根源的な苦しみに遭
遇するという。生きる苦しみ、
しみ、そして死にゆく苦しみ
について、私たちは深く思
いをいたさねばならない。医療
も福祉も、人の生老病死に深
く関わっている。旭川荘は、
すでに四十年以上も前から、
実践を通じてこの課題に挑
み続けてきた。それを、学問
として思想として、体系化し
ようというのが医療福祉学
である。この学問は、一人ひ
とりの人生に深く関わること
によつてのみ成立するが、
その歴史はようやく十年で
ある。

改めて、旭川荘の鬱然とし
て深淵なる営みの意味を噛
みしめなければならないと思
う。

旭川荘に求められるもの



旭川荘専務理事 末光茂

21世紀の日の出を迎え、いよいよ新しい時代の幕が開かれました。この時代の節目にあたり、「旭川荘だより」も昭和57年7月発行の第1号から数えて100号を迎えることになりました。そこで、旭川荘と深い縁があり、各界でご活躍中の三位にお願いし、それぞれのお立場から21世紀の旭川荘に期待する内容で原稿を寄せていただきました。

最初に、旭川荘が所在する自治体の長として萩原誠司岡山市長から、「国際福祉都市づくり」をめざす市の計画とその中で期待される旭川荘の役割やこれからについてご意見を述べていただきます。

次いで、永年にわたり旭川荘を支えていただき、法人の理事もお勤めいただいている黒住教の黒住宗晴教主には、市民・ボランティアを代表する立場でこれからの旭川荘に期待する「夢」について語っていただきます。

最後に、介護保険の導入や社会福祉基礎構造改革、第四次医療法改正等の流れの中で、大きく揺れ動いている「医療福祉」の世界にあって、これからの旭川荘への期待、果たすべき役割などについて、川崎医療福祉大学の岡田喜篤副学長にご提言いただきます。

お三方のご期待、そして旭川荘を支えてくださる多くの皆様方の熱い思いを胸に、アジアの中の総合医療福祉施設として一層の充実を図るよう、関係者一同力を尽くす所存です。



新年明けましておめでとうございます。

二十一世紀の幕開けとともに、この記念号を迎えたとともに、「旭川荘だより」が一〇〇号

ことを心からお喜び申し上げます。

この施設は、必ずや、「二

十世紀型福祉」の本市の拠

点として、また、地域住民が

活動の場として、「国際・福

祉都市」を目指す本市のシンボ

ルとなるものと思っており

ます。

この施設は、必ずや、「二

十世紀型福祉」の本市の拠

点として、また、地域住民が

活動の場として、「国際・福

祉都市」を目指す本市のシンボ

ルとなるものと思っており

ます。

この施設は、必ずや、「二

十世紀型福祉」の本市の拠

点として、また、地域住民が

活動の場として、「国際・福

祉都市」を目指す本市のシンボ

ルとなるものと思っており

ます。

よきパートナーとして

岡山市長 萩原誠司

新しい時代への取り組み

主な事業

本年度新たに取り組んだ事業は、介護保険制度に合わせて「高齢痴呆症のグループホーム「はなみずき」」。通所介護事業の定員増と「はつらつ元気のつどい事業」。重度対策として重症心身障害児施設「睦学園」の定員増、高梁市での重症児通園事業。重度身体障害者授産施設「吉備ワーケホーム」「愛育寮」「いづみ寮」に通所部と地域生活のための生活ホーム「カトレア」と「つばき」などを開設しました。また、地域の子供たちが利用できる「さくら児童館」「梶谷記念ライブラリー」を開所し多くの子供たちが利用しています。社会福祉施設職員養成施設「厚生専門学校」



睦学園 病室

主な研修

新しい時代の対応に職員の変容・成熟が求められているなか、職員研修は重要な取り組みの一つです。旭川荘は研修センターを中心に積極的、体系的研修を実施しています。

五月の「新採用職員研修」は従来の内容・日程を大幅に変更し開催しました。三十二年続いた療育研修会は中堅職員を対象により専門的な研修会として「旭川荘知的障害者医療福祉セミナー」として生まれ変わって開催し

院では、訪問看護、訪問看護実習のための在宅介護看護学習センターを川上町に開設しました。

利用者サービスでは社会福祉基礎構造改革に対応できるよう人権擁護、職員研修、苦情対応、情報開示、サービス評価に積極的に取り組んでいます。

雇用環境ではセクシユアルハラスメントの苦情、相談体制の整備と啓発、「岡山男女共同参画推進センター」での相談事業を開始しました。

障害を持つ人たちの情報バリアフリーを推進し社会の情報化の利便を享受し社会参加を計るための取り組みなど、荘全体でITの推進にも取り組んでいます。

旭川荘ごよみ

1月

- | | | | |
|-----------|----------------|-------|-------------------------|
| 11日 | 成人を祝う会 | | 睦学園 |
| 12日 | 成人式 | | 旭川児童院 |
| | 新春を祝う会 | | わかば青年寮 |
| | 親子教室(凧上げ大会) | | みどり学園 |
| 14日 | 父親の会総会 | | パンビの家 |
| 15日 | 利用者の新年会 | | かわかみ療護園 |
| 21日 | 家族活動日 | | いづみ寮 |
| 28日 | 保護者・家族・職員合同研修会 | | 旭川学園、いづみ寮、愛育寮 |
| 28日 | 一般1次入学試験 | | 旭川荘厚生専門学院 |
| 29日~2/23日 | | | 旭川荘写真作品展
(三菱信託銀行)全施設 |

2月

- | | | | |
|------|----------------------|-------|--------------------------------|
| 2~5日 | 節分、豆まき | | かわかみ療護園、旭川学園、あかしや園、みどり学園、旭川乳児院 |
| 3日 | 家族活動日 | | いづみ寮 |
| 7日 | 家族研修会(県外施設見学) | | 愛育寮 |
| 17日 | 保護者役員会・作業日 | | 旭川学園 |
| 18日 | 家族活動日 | | いづみ寮、たかはし授産センター |
| 20日 | 生活発表会(通園) | | 旭川療育園 |
| 21日 | 卒業研究発表会(介護福祉科、福祉研究科) | | 旭川荘厚生専門学院 |
| 22日 | ゆうあい文化祭 | | 知的障害者施設 |
| 24日 | 家族懇談会、ひな祭り会食 | | あかしや園 |
| 25日 | 成人の集い | | パンビの家 |
| 27日 | 児童福祉科卒業演奏会(県福社会館) | | 旭川荘厚生専門学院 |



末光専務理事の講義を受ける新任職員

編集後記

あけましておめでとうございます。本号は「二十一世紀一月一日発行〇〇号」ということになりました。一〇〇号特集として「二十一世紀への展望」に関わるテーマで紙面を構成しました。新世紀始まりの今年も「旭川荘だより」をご愛読下さいますようお願いいたします。

旭川荘が担当し、全国から多くの関係者が参加し研究の成果が発表されました。発達障害学会第三十五回研究大会を旭川荘が担当し、全国から多くの関係者が参加し研究の成果が発表されました。